



東京女子医大麻酔科 グランドラウンド

Anesthesia Grand Rounds at TWMU



2024年9月6日 (金)
東京時間朝7時-7時50分
@ZOOM

演者: 讃岐美智義先生

Prof. Michiyoshi Sanuki,
MD, PhD

国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター
中央手術部長・臨床研究部長・麻酔科科長

やさしくわかる！

術中脳波モニタリング実践的活用

Easy to Understand!

Practical Application of Intraoperative EEG Monitoring

2020年に新たに登場した全身麻酔薬レミマゾラムは、長年使用されているプロポフォールと共に全静脈麻酔 (TIVA) の新たな時代を切り開いています。環境保護の観点から揮発性麻酔薬の使用が見直される中、TIVAの重要性はますます高まっており、将来的には確固としたTIVAのスキルが臨床現場で必須となることが予想されます。これまでの麻酔管理は、血圧や脈拍の変動、術野の観察、薬物濃度などに基づいて行われていましたが、そこに精緻な術中脳波モニタリングを組み込むことで患者の安全性と快適性をさらに向上させることが可能です。脳波モニタリングを通じて全身麻酔中の脳の状態を直接評価し、より安全かつ効果的な麻酔管理が求められているといっても過言ではありません。本講演では、プロポフォールやレミマゾラム、レミフェンタニルを使用したTIVAにおいて、術中の脳波モニタリングを実践的にどのように活用するかについて、わかりやすく解説していただく予定です。みなさま、こぞってご参加ください！